

誠実に!

TADASHI YAMAMOTO SHIGA Prefectural assembly Report

滋賀県議会議員 やまもと ただし

山本正
県政レポート

私の政治信条は「未来への責任」、そして「やさしくて笑顔あふれるまちづくり」です。人口減少と少子高齢化、エネルギー問題、気候変動・・・前例のない社会の到来だからこそ、政治にはよりいっそうの覚悟と責任、未来を見通す構想力が求められています。「選択と集中」による次世代につけを残さない施策展開、全ての人に居場所と出番があり多様な価値観を認めあう共生社会、平和と人権、民主主義の堅持。これらの実現に向けて、これからも県民の皆さんとともに歩み続けます。

活動報告

2014年9月議会

会派を代表して質問にたつ!



滋賀県基本構想や危険ドラッグ、防災対策、女性の活躍、観光政策、農業政策、交通政策、警察行政について、三日月知事の考えを問いました。



あくまで市民目線で、弱いものの立場に立って、現場の声を行政施策に反映する。そのスタンスで市議時代とあわせて12年間、議員活動を続けて来ました。これからも、ぶれることなく頑張っまいます。

三日月知事と県政について語り合う



「チームしが」の結成にも大きく関わりました。



嘉田由紀子前滋賀県知事と

2015年2月議会

予算特別委員会にて「うみのこ」のカッター活動を約束



新造船計画中の「うみのこ」に現在6艇あるカッター艇が積載されなくなるという予算案が提案されました。

32年の長きにわたって、子ども達に好評を博してきたカッター活動です。継続を訴え、船上ではないですが寄港地でのカッター活動を代替案として言質を取りました。子どもたちにとって、生涯にわたって心に残るびわ湖とのふれ合いになることを願います。

2014年6月議会

認知症による徘徊対策が進展しました!

「広域迅速な捜索体制の確立」「単独世帯の認知症発症と地域」「認知症の医療体制」等を質問し、県の広報誌での告知や市町への働きかけなど、対策が大きく進みました。



犬猫の殺処分をゼロに

共生という観点から動物愛護についても取り組みます!

犬猫の殺処分ゼロを目指して、以前より議会でさまざまな施策の拡充を訴えてきました。中でも、火急の最優先事項として、ガス室での窒息死になっていた殺処分を、せめて安楽死にと訴えていましたが、麻酔薬による安楽死になりました。ほんの少しだけでも前進です。

犬猫は野生動物と違い人間社会の中で生きています。一刻も早く、責任ある適正飼養と殺処分ゼロを目指してこれからもがんばります。



山本正

プロフィール

1958年草津市生まれ/膳所高卒/滋賀大学経済学部中退
2003年-2011年草津市議会議員/2011年より滋賀県議会議員

〒525-0027 草津市野村 7-2-7

HP <http://tdsh333.jimdo.com>FB <http://m.facebook.com/tdsh333>